

自治会報

さがみはら

No.46

平成17年3月発行
発行部数 17万5千部

つくりだそう自治の力で明るいまちを

現況	地区自治会連合会数	18
	自治会数	432
市人口	加入世帯数	159,478 ^{世帯}
世帯数	班(組)数	10,638
面積	90.40km ²	
	市の人口・世帯はH17.2.1現在	H.16.4.1現在

発行責任者 相模原市自治会連合会 会長 三橋 豊

題字 相模原市長 小川勇夫



古紙配合率100%再生紙を使用しています

事務局 〒229-0036 相模原市富士見6-6-23けやき会館内 TEL.042-753-3419 ●〒229-8611 相模原市中央2-11-15相模原市役所 市民生活課内 TEL.042-769-8226



神輿、まんどう、ねぶた、大凧の光がリバティ大通りを埋め尽くした「光のパレード」



フィナーレを飾った150発の花火

「市制50周年記念フェスティバル～さがみはらの祭り大集合～」が、平成16年11月20日（土）にリバティ大通り（市役所～アイワールド）で開催されました。

市自治会連合会も共催したこの「50年に一度の祭典」に、相模の大凧、上溝夏祭り、中央・清新地区のねぶたカーニバル、相模大野まんどうまつりなど、各地区を代表する祭りやイベントが参加し、約20万人の来場者とともに、市制50周年を祝い、ふるさと「さがみはら」を共感し合いました。



三橋 豊 市連会長も参加して行われたオープニングテープカット

- 春山 清之 芳賀 善捷
- 大森 孝
- 麻溝地区
- 石野 篤
- 大沢地区
- 大木 恵
- 諸節 道子
- 三澤善次郎
- 太田 顯
- 大野南地区
- 増田 忠雄
- 高梨 英夫
- 樋口 茂雄
- 大野中地区
- 江成 功
- 大野北地区
- 萩原 義信
- 若宮 正則
- 渡部 勝通
- 橋本地区
- 渡部 勲
- 光が丘地区
- 坂本 洋三
- 星が丘地区
- 代田 昭
- 小川 濱夫
- 中央地区
- 大枝 義洋
- 小山地区

平成16年度の相模原市自治会活動功労者感謝状贈呈式が、平成17年2月5日(土)に市民会館で行われました。
 これは、心かよいあつまるいまちづくりを推進するため、地域住民の福祉向上に寄与した方に相模原市が感謝の意を表するもので、今年度は43名の方が市長から感謝状の贈呈を受けました。受賞者は次の方々です。
 (敬称略)

おめでとうございます
市長から感謝状が贈呈されました



- 東林地区
- 相模台地区
- 飯原 雪男
- 山本満智子
- 井上ヤエ子
- 桑野 淳
- 清水 弘二
- 篠崎 勉
- 前屋 政美
- 芝崎 成光
- 伊藤 俊洋
- 若林 秀一
- 澤田 豊
- 市川 功
- 判治 君代

新しい時代をとともにひらく 「市政を話し合う会・地域市政懇談会」を開催

各自治会の皆さんは、日頃様々な地域活動をされており、一つの共有する風景を実感できる間柄ともいえると思います。自治会活動にはさらに、より広い範囲を視野に入れた活動もあります。それが市・地区自治会連合会の活動です。地区自治会連合会では、市内18地区での「地域市政懇談会」を毎年夏から秋にかけて開催しております。市自治会連合会においては、活動の一環として市長を囲んで「市政を話し合う会」を毎年11月に行っております。

これらの会では、18の地区自治会連合会単位や市全体にわたる課題などについての話し合いが行われております。今後も、自治会、地区自治会連合会及び市自治会連合会は、それぞれの視点でともに市と手を携えて相模原市発展のためにコミュニティづくり・地域づくりに努めてまいります。地域市政懇談会の地区別議題は表のとおりです。(地区名の)内は議題数



平成16年度 地域市政懇談会地区別議題一覧

地区	議題名
大沢(4)	1 市道下九沢大島の道路整備の全体計画について (1)市道下九沢大島の全体計画について(土木計画課) (2)市道下九沢大島の個々の改良等について(交通・地域安全課、都市交通計画課、土木計画課、道路整備課、道路補修課) 当日要望① 大沢公民館の改修について(生涯学習課) ◎市からの議題「市町村合併について」
東林(5)	1 ふれあいセンター設置について(企画政策課) 2 教育環境と子育て支援について(子育て支援課、保育課) 3 東林地区の道路整備について(土木計画課、道路整備課、相模原市みちの協会) 4 市内警察署の再編に対する市の考え方について(交通・地域安全課) ◎市からの議題「市町村合併について」
大野中(7)	1 「犯罪のない安全・安心のまちづくり」事業について (1)市の防犯対策と子どもの校外における安全対策について(交通・地域安全課、学務課、学校施設課、指導課) (2)防犯モデル地区の概要について(交通・地域安全課) (3)市内外で効果的な防犯活動をしている先進的な活動事例について(交通・地域安全課) (4)地域に期待する防犯活動と警察署の役割について(交通・地域安全課) (5)防犯活動中の事故に対する、災害補償保険制度の適用について(交通・地域安全課) (6)警察の地区別犯罪情報の提供について(交通・地域安全課) ◎市からの議題「市町村合併について」
相模台(3)	1 緑道の整備拡充依頼について(公園課、都市整備課、土木計画課、道路整備課) 2 掲示板助成の復活について(市民生活課) ◎市からの議題「市町村合併について」
星が丘(2)	1 ごみの減量と分別回収の徹底について(ごみ減量推進課) ◎市からの議題「市町村合併について」
田名(8)	1 田名地区における公共交通整備について (1)バスターミナルの早期実現について(都市交通計画課) (2)新都市交通について(都市交通計画課) (3)市道田名452号の拡幅整備について(道路整備課) 2 相模川河川敷を中心とした観光整備について (1)相模川沿いの散策路を利用した道路整備計画及び市道田名451号の拡幅整備計画について(みどり対策課、土木計画課、道路整備課) (2)観光資源活性化及び都市型観光推進について(商業観光課、みどり対策課) (3)望地河原土手の整備について(農政課) (4)塩田向原遺跡公園整備計画及び駐車場整備計画について(文化財保護室) ◎市からの議題「市町村合併について」
橋本(1)	◎市からの議題「市町村合併について」
光が丘(2)	1 県立相模原工業技術高校の利用計画について(教育総務課) ◎市からの議題「市町村合併について」
横山(2)	1 NOX(窒素酸化物)及びCO2(二酸化炭素)削減の一対策並びに市民健康促進を目的とした自転車使用の推進について(都市交通計画課、土木計画課) ◎市からの議題「市町村合併について」

地区	議題名
相模台(4)	1 地区内3箇所の児童通学路に関する安全対策及び信号機等の整備について (1)都市計画道路古淵麻溝台線の交差点について(道路整備課) (2)市道磯部大野の交通安全対策について(道路整備課) (3)米軍相模原住宅地区外周壁の安全性確保について(渉外課) ◎市からの議題「市町村合併について」
大野北(3)	1 青山学院大学の通学路について(企画政策課、土木計画課、国道対策室) 2 上矢部地区に小学校設立と通学路の安全確保について(渉外課、学務課) ◎市からの議題「市町村合併について」
麻溝(4)	当日要望① 新しい交通システムの進捗状況について(都市交通計画課) 当日要望② 米軍の航空機騒音について(渉外課) 当日要望③ 市道大下麻溝台及び市道新磯野19号の整備について(南土木事務所) ◎市からの議題「市町村合併について」
中央(3)	1 市からの情報提供に自治会組織を活用することについて(市民生活課、高齢者福祉課) 当日要望① JR矢部駅構内踏切の改善について(都市交通計画課) ◎市からの議題「市町村合併について」
小山(5)	1 小田急線のJR相模原駅乗り入れについて(都市交通計画課) 2 JR相模原駅北口にある駐輪場について(駐車場対策課) 3 市、警察、市民による防犯の取組について(交通・地域安全課) 当日要望① 米軍のキャンプ座間について(渉外課) ◎市からの議題「市町村合併について」
上溝(3)	1 県道508号(厚木城山)について(国道対策室) 2 圏央道の完成期限の明確化と早期完成の施策について(国道対策室) ◎市からの議題「市町村合併について」
新磯(7)	1 新磯小学校のグラウンド拡張について(学校施設課) 2 「犯罪のない安全・安心のまちづくり」事業について (1)市の防犯対策と児童生徒の登下校時等における安全対策の取組について(交通・地域安全課) (2)地域に期待する防犯活動と警察の役割について(交通・地域安全課) (3)防犯活動中の事故に対する災害補償保険制度とその内容について(交通・地域安全課) (4)地区別犯罪状況の提供と補助金の増額について(交通・地域安全課) 当日要望① 新戸上新自治会内の無償提供道路について(南土木事務所) ◎市からの議題「市町村合併について」
清新(3)	1 小山公園の整備について(公園課) 当日要望① 北部地区警察署の管轄区域について(交通・地域安全課) ◎市からの議題「市町村合併について」
大野南(3)	1 相模原市南部の航空機の騒音の解消と「住宅防音工事助成対象区域」に係るNHK受信料減免の早期実現について(渉外課) 2 市道鶴野森大野の「相模台工高入口」交差点の改良について(交通・地域安全課、道路整備課) ◎市からの議題「市町村合併について」

地道な努力で会員増強を

自治会加入率の減少化傾向に対して、市自治会連合会の組織部会では各自治会での加入促進活動を行うにあたっての参考としていただくような方策の検討を毎年進めております。今年度までに方策としてまとめたものをご紹介しますので、今後の活動にお役立てください。

項目	意義	方法等
自治会加入のしおり・自治会独自の案内パンフレットの配付	未加入世帯の人と直接面談することで加入への意向を引き出す。	役員自身が加入促進についての理解と関心を持ち、足を運ぶ。自治会活動のメリット（地域コミュニティの活性化、防犯や防災面など家族や自身の安心・安全に直結した活動であること）を十分に説明する。
マンション建設段階での加入案内	マンション入居にあたっての事前説明時等に依頼がされるので、加入への心理的なハードルを下げられる。	マンション建設に先立って行われる地元説明会を通じて自治会加入への依頼を行う。更に建築主等が加入依頼を行うことを、建築に関する協定書・覚書等に記載してもらう。
アパート・マンションの一括加入の働きかけ	アパート・マンションの入居状況にかかわらず、自治会への加入自体は担保される。	建設当初の入居者を中心に加入が図られたとしても、転居に伴い新規加入が必ずしも保証されない。このため、管理人（者）との協議・協力依頼のうえ、アパート・マンションの一括加入を働きかける。
イベント等への参加呼びかけ	実際に自治会が活動している場面を捉えてアピールし加入を促す。	地域のイベントなどの際、未加入者へも声かけし、イベントへの参加を通じて自治会活動への理解を深めていただき、加入をお願いする。
役員免除などの退会防止策の検討	自治会活動の意義は評価していても、役員としての活動は困難である高齢者世帯等の退会防止が可能となる。	自治会内での意見統一のうえ、年齢などの一定条件に該当する場合、本人の意向により組・班の中で就任を要請される役割分担を免除する等の規定を規約で定めるなどの対策を実施する。

人物紹介

36

子どもの誕生を祝い、また農作物の豊作を祈願した遠く江戸時代からの伝統文化である『相模の大風』。現在では端午の節句に大風文化の保存・継承と観光を兼ねて相模川新磯河川敷で『相模の大風まつり』として催されています。今回の人物紹介は、このまつりを毎年開催している『相模の大風文化保存会』の会長である石川龍二さん、技術面の長老格である西山一郎さんのお二人です。

『相模の大風文化保存会』は、長年にわたり大風づくりの技術及び大風揚げの技を地域住民とともに次世代に受け継いでおり、また、昨年4月には、

全国各地の凧が集う『風の祭典 in さがみはら全国凧揚げ大会2004』を開催、大成功を収め、神奈川の大風と文化を広く全国へ発信したなどの功績により昨年11月には神奈川文化賞を受賞されています。

『保存会』の設立経過等についてお聞かせください。

「新戸、上磯部、下磯部、勝坂の4地区それぞれが実施していたものを、十数年前、当時、新磯地区自治会連合会長をされていた野頭謙一さんが発起者となり推進協議会が組織され、2年程して現在の相模の大風文化保存会に移行しました。会員は4地区合わせると約500人程になります。4地区の大風保存会の会長が副会長として会の役員構成をしています。大風づくりは、いつ頃から始まるのでしょうか？」

「10月下旬の竹の切り出しから始



(右) 石川さん (新磯地区 新戸山谷自治会員)
(左) 西山さん (新磯地区 新戸河原東自治会員)

まります（竹を切るには10月下旬の闇夜の時が良いとされていること）。紙貼り・題字書き・竹割りと続き、3月下旬には組み立てが始まり、4月上旬には完成します。その後、土俵づくりを行い、最後は凧を揚げる10日前頃に糸目付けを行います。」

「題字はどのようにして決めるのでしょうか？」
「紙にはこだわりがあります。手書き和紙を使いますが、奥秩父まで直接出向き発注します。大変なのは竹割りであり、また、組み立てる際には竹の使う場所が重要となるので、細心の注意を払って指示します。相模の大風の特徴は、紙を取り外すことにより風の抵抗を調節できることです。これにより風速10〜18メートルでも揚げられますが、紙を取り外す際の判断が

「毎年11月から12月にかけて市の広報紙で、漢字2字の題字を募集します。1月には保存会のメンバー35人位による検討委員会で1点を選び、市長に提言します。決定した題字は市長が筆で書き、それを凧に書き写します。書く際は桐の炭を使って下書きをしています。また、水と太陽を象徴するため、色は青と赤にしています。」

「紙にはこだわりがあります。手書き和紙を使いますが、奥秩父まで直接出向き発注します。大変なのは竹割りであり、また、組み立てる際には竹の使う場所が重要となるので、細心の注意を払って指示します。相模の大風の特徴は、紙を取り外すことにより風の抵抗を調節できることです。これにより風速10〜18メートルでも揚げられますが、紙を取り外す際の判断が

「昔は4月8日に作り、風がよければ何時でも揚げていました。相模川前付近の畑に行っていた人も、太鼓の音を聞くと凧場に戻ってきました。その頃は、ドラン・類紅・口紅などの化粧を施しており、踊りも男が踊っていたものでした。また、化粧をしハッピーとシゴキをまとっている、電車にも無賃で乗ることが出来、都内まで行ってご馳走になった人もいたようでした。糸目付けをしてから本番までの10日間程度は糸番を行っていました。これは、昔は他地区の凧糸を切りに行っていたための対応策だったのです。今はそんなことはありませんが名残として行っています。一晩10人前後の老いも若きもが一緒にいるので、良い交流の場となり楽しみにしている人も多いようです。」

厚生施設に新たな施設が加わります

平成17年4月1日から、次の2ヶ所の施設と新たに契約を結びます。自治会員の皆様への特典を用意していますので、ご利用ください。

- 契約内容・利用方法等は、3月下旬頃各世帯に配布の「ホテル、遊園地等との割引契約のご案内」リーフレットをご覧ください。
- 「東京ムツゴロウ動物王国」(東京・あきるの市)
- 「多摩テック」(東京・日野市)

平成16年度コミュニティ助成事業購入品目一覧

「コミュニティ助成事業」とは、宝くじの普及・広報等を図るための事業費を財源として、財団法人自治総合センターが地域住民のコミュニティ組織等へ助成を行う制度です。各地区連へは3年ごとに助成を行ってきています。

品目	物品名及び仕様	数量	地区名
白	樽製 1升用 (1尺5寸)	1	小、山
反射ベスト	紺メッシュ061-030 (東亜販売製)	50	
焼き鳥機	プロパン用 600×150×170	1	
ワイヤレスアンプ	TOA製 WA-1802C	1	皇、が、丘
デジタルカメラ	キャノン IXY DIGITALL30A	1	
デジタルカメラ	ニコン COOLPIX 3200	1	
耐火金庫	LION MD-2BN	1	橋、本
プレハブ物置	イナバベイシー-MBW-17	1	
プレハブ物置	イナバベイシー-MBW-25	1	
綿菓子機	YO-5型	1	上、溝
プリンター	エプソン PM-A850	1	
パソコン	eマシース J2820	1	
コピー機	キャノン FC336	1	相、模、台
ゼミテーブル	ライオン LA-1845	21	
ウォータークーラー	三菱電機 WL-20CI	1	
プレハブ物置	イナバ MBW-30F	1	東、林
肘なし椅子	プラス MC-V25	6	
ペーパーカッター	コクヨ DN-61	1	
パウチ	コクヨ KLM-HR320	1	市自治会連合会
パウチフィルム	コクヨ MSP-F220307 (A4)	1	
パウチフィルム	コクヨ MSP-F307430 (A3)	1	
電動硬貨選別機	エンゲルス SCS-200	1	
掲示板	壁掛けタイプ プラスNK-23NE	1	
綿菓子機	YO-5型	1	
投光機	HONDA EM4001W	1	
デジタルカメラ	フジフィルム Fine Pix F420M	1	
プリンター	キャノン PIXUS 9100i	1	
コンパクトカメラ	ミノルタ カピオス160A	1	

活力

光が丘地区

並木四丁目自治会長 高岡 次郎

当自治会会員数は約370世帯、この数年の主だった事業内容を紹介いたしますと、7月中旬に郷土祭りを催し、会員家族はもとより近隣自治会からも多数の方々が見えられ、参加者も千余名に達し会員相互のふれあいの場、地域活性化の一助として盛り上がりを見せております。

年明けには町内にあることも広場で「どんと焼」を開催、餅つき、豚汁、甘酒、繭玉焼き、焼き芋等自治会参加者に振る舞い、新年の挨拶と同時に更に親睦を深めており、参加者も毎年400、500名に達しております。

9月敬老祝事として、65歳以上を対象に光が丘公民館大会議室にて会食をまじえて踊り、大正琴、カラオケ、子供の歌、ビンゴゲーム等多彩な催しものを行ってきましたが、参加者の顔ぶれ、人数等に限界を感じ、昨年度は日帰りバス旅行を実施しました。



「行先は、「みなとみらい横浜」「中華街会食」「ビール会社見学」を行いましたところ、多数の参加を戴き有意義な旅行になり、参加者から来年もという言葉がもたらえました。

野辺駅南口一帯で、駅の北口商店街に対し、公共施設や公園等があり、比較的閑静で商店街を兼ねた住みよい住宅地です。しかし、昨今相模原市の犯罪は警察署資料によると県内有数の多発地区であり、かつ、大野北地区は相模原警察署管内では、橋本地区に次いで多い地区です。

昨年12月には、年末特別防犯パトロールをするため、駅前交番に参加を依頼した所、本署より、白井防犯第一係長以下9名、ガードマン7名の方々が快く参

加し、種々ご指導を頂きながら最後まで同行下さいました。今後も、このような活動を続け、明るく健全で安心して日々暮らせる町づくりを進めていきます。

平成16年の夏、当自治会会員の子弟で小学校4年生の女子が、上溝駅前通りのスーパーダイエー前の信号から、南へ姥川

相武台前町内会は昭和37年に設立。15自治会、会員数2、621世帯で平成13年に法人化しました。



我が町内の犯罪撲滅をめざして

大野北地区旭町自治会長 福田 欣司

年々高齢者の増加に伴い行政の力をお借りし、自治会として行くことが現在求められている課題と想っております。

先ず防犯部は月1回以上、夜間防犯灯点検を兼ね、昨年5月よりパトロールを実施してまい

に、小中学校の下校時に合せ巡回しています。自治会役員は、月1回以上を目標に町内会全

に囲まれ、春夏秋冬を肌で感じる事が出来る自然環境に恵まれた地に在ります。現在、田名地区自治会連合会の傘下には15自治会があり、その会員数は、231であります。

折、身近で出来る小さな行動の積み重ねが大きな力になる、又住民相互の協調と連携が即ち防

10月2日の「地域安全市民のつどい」に参加させて頂いた事が大きい参考になっております。

「赤青、白、黄組」に別れ、1組8人、10人編成で「鐘と懐中電灯」を各自が持ち、組ごとに巡回する事とした。お陰でその後は犯罪は起きていない。

むかし昔 No.34

麻溝小学校の今昔

麻溝地区

大橋自治会

座間 照義

私達の祖先が、鳩川や相模川の水辺に生活するようになり、鳩川の付近は下溝村、相模川の付近は当麻村と言われました。

この村には下溝学校と当麻学校があり、学校といっても人家を借りたり、お寺などを教室として勉強し、先生も1人か2人だったようです。

やがて教育熱が高まり、2つの学校が併合され、当麻の「麻」と下溝の「溝」をとって、明治25年に尋常麻溝小学校が創立されました。

その後、明治35年には高等小学校が併置され麻溝尋常高等小学校となり、在校生は300名にも達し、「読み・書き・ソ



「バックを引ったくりにあった」情報も入って来ている。自治会役員で緊急に協議し、犯罪予防のための緊急の回覧板を回すと同時に、役員・運営委員と一般会員にも呼びかけて、「防犯パトロール」を実施し、犯人に自省を促す、自治会が防衛手段として動き出した事を認知させる事で、犯罪の防止につながると考えています。

パトロールは9月23日から26日にかけて、12月5日から18

「自治会報さがみはら」は、皆様の会報です。自治会・地域での様々な活動・話題などの情報やご意見をお寄せください。

お問い合わせは、相模原市自治会連合会事務局 (042-753-3419) E-mail:jchren@wine.ocn.ne.jp

「自治会報さがみはら」は、皆様の会報です。自治会・地域での様々な活動・話題などの情報やご意見をお寄せください。

「案内とお願い」



「自治会報さがみはら」は、皆様の会報です。自治会・地域での様々な活動・話題などの情報やご意見をお寄せください。

編集委員

- 宮崎 直道 (上溝) 追切 陸廣
岸 久夫 (小田) 遠藤 忠男
代田 昭 (中野) 矢沢 静雄
石川 悦男 (大野) 安藤 定雄
保志門 勉 (相模原)